

14時30分解禁

平成23年9月 全国百貨店売上高概況

平成23年10月18日

I. 概況

1. 売上高総額	4,369億円余
2. 前年同月比	-2.4% (店舗数調整後/3か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 253店 (平成23年8月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,393,768㎡ (前年同月比:-1.2%)
5. 総従業員数	88,402人 (前年同月比:-5.1%)
6. 3か月移動平均値	2-4月 -5.8%、3-5月 -6.5%、4-6月 -1.2%、 5-7月 -0.7%、6-8月 -0.4%、7-9月 -1.2%

[参考] 平成22年9月の売上高増減率は-5.2% (店舗数調整後)

【9月売上の特徴】

3か月連続の前年同月比マイナスとなったが、減少率は2%台と小幅に収まっており、景気の先行き不透明感はあるものの、ここ数か月の売上動向は比較的堅調に推移している。

9月は、2つの台風(12号、15号)が相次ぎ接近上陸したことや厳しい残暑が中旬まで続いたことから、例年本格展開がスタートする秋物衣料(衣料品:-2.5%)などの季節商材に動きが見られなかったほか、入店客数にも大きな影響を受けた。一方、6月から好調に推移している宝飾品、高級時計などの高額商材が引き続き伸び(美・宝・貴:+1.1%)を示したほか、下旬からの気温低下で主力の秋物ファッション商材が活発に動き始めるなど、一部持ち直しの傾向も見られたが、月前半の不振をカバーするまでには至らず前年実績には若干届かなかった。

具体的な動向としては、復興需要が一服し東北地区の伸び(仙台:+4.7%、東北:0.0%)が低下してきたこと、新店効果で福岡地区(店舗数調整前:+10.9%)が引き続き活況であること、大震災や原発事故で急減した訪日外国人が、西日本を中心に回復傾向を強めている(売上高前年同月比/4月時点:-76.8%⇒9月時点:-5.2%)こと、などが報告されている。

【要 因】

(1) 天 候 : 気象庁発表「9月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 記録的な大雨となった2つの台風や前線の影響により、広い範囲で顕著に降雨量が多かった。また、月の中旬にかけて、東日本以西は高気圧に覆われ晴れて気温が高くなり、厳しい残暑となった。

(2) 営業日数増減 29.9日 (前年同月比+0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日 (" ±0日)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した: 27店、②変化なし: 25店、③減少した: 75店、④不明: 45店

(5) 9月歳時記(敬老の日、秋分の日/お彼岸)の売上 (同上)

①増加した: 10店、②変化なし: 64店、③減少した: 20店、④不明: 78店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する: 20店、②変化なし: 82店、③減少する: 22店、④不明: 48店

全国百貨店 売上高速報 2011年09月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	436,978,452	100.0	-2.4 (-2.1)
10都市	286,616,524	65.6	-2.7 (-1.5)
札幌	11,611,918	2.7	-2.8
仙台	6,213,267	1.4	4.7
東京	107,476,532	24.6	-3.6 (-4.7)
横浜	25,048,940	5.7	-0.3 (-1.1)
名古屋	25,660,009	5.9	-1.7
京都	17,021,551	3.9	-1.8
大阪	57,567,011	13.2	-1.3 (2.9)
神戸	11,805,625	2.7	-6.7
広島	10,377,843	2.4	-0.3
福岡	13,833,828	3.2	-9.9 (10.9)
10都市以外の地区	150,361,928	34.4	-1.9 (-3.3)
北海道	2,589,756	0.6	-7.9
東北	7,381,167	1.7	0.0 (-15.0)
関東	73,544,338	16.8	-2.1 (-2.4)
中部	11,392,710	2.6	-3.4
近畿	14,446,970	3.3	1.8
中国	10,372,412	2.4	-5.3
四国	7,768,049	1.8	-2.5
九州	22,866,526	5.2	-1.0 (-3.7)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	436,978,452	100.0	-2.4 (-2.1)
紳士服・洋品	25,156,055	5.8	-2.3 (-1.3)
婦人服・洋品	104,157,041	23.8	-2.3 (-2.6)
子供服・洋品	10,327,775	2.4	0.0 (1.1)
その他衣料品	11,192,460	2.6	-7.1 (-7.1)
衣 料 品	150,833,331	34.5	-2.5 (-2.5)
身のまわり品	56,862,386	13.0	-1.4 (-0.7)
化粧品	26,104,189	6.0	-3.1 (-3.4)
美術・宝飾・貴金属	22,222,814	5.1	1.1 (1.6)
その他雑貨	17,959,468	4.1	-8.2 (-8.2)
雑 貨	66,286,471	15.2	-3.2 (-3.2)
家 具	6,005,861	1.4	-2.2 (-1.8)
家 電	1,230,053	0.3	-16.5 (-16.6)
その他家庭用品	15,510,159	3.5	-1.1 (-1.0)
家 庭 用 品	22,746,073	5.2	-2.4 (-2.2)
生 鮮 食 品	25,343,697	5.8	-2.1 (-2.0)
菓 子	27,990,141	6.4	-0.9 (0.7)
惣 菜	26,665,775	6.1	1.8 (2.6)
その他食料品	31,949,036	7.3	-3.8 (-3.8)
食 料 品	111,948,649	25.6	-1.4 (-0.8)
食 堂 喫 茶	13,887,110	3.2	-4.2 (-2.1)
サ ー ビ ス	5,132,026	1.2	-4.0 (-5.4)
そ の 他	9,282,406	2.1	-8.2 (-9.5)
商 品 券	11,626,897	2.7	-25.2 (-25.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -2.7% (店舗数調整後 / 3か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -1.9% (" / 2か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-2.7	-1.7	3か月連続マイナス
札幌	-2.8	-0.1	5か月連続マイナス
仙台	4.7	0.1	5か月連続プラス
東京	-3.6	-0.9	3か月連続マイナス
横浜	-0.3	0.0	6か月ぶりマイナス
名古屋	-1.7	-0.1	4か月ぶりマイナス
京都	-1.8	-0.1	7か月連続マイナス
大阪	-1.3	-0.2	2か月連続マイナス
神戸	-6.7	-0.2	5か月連続マイナス
広島	-0.3	0.0	3か月連続マイナス
福岡	-9.9	-0.3	38か月連続マイナス
10都市以外の地区	-1.9	-0.7	2か月連続マイナス
北海道	-7.9	-0.1	11か月連続マイナス*
東北	0.0	0.0	6か月ぶりマイナス*
関東	-2.1	-0.4	3か月連続マイナス
中部	-3.4	-0.1	7か月連続マイナス
近畿	1.8	0.1	6か月連続プラス
中国	-5.3	-0.1	3か月連続マイナス*
四国	-2.5	0.0	51か月連続マイナス
九州	-1.0	-0.1	2か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、2か月連続で全品目がマイナスとなった。また、美術・宝飾・貴金属が1.1%と4か月連続、惣菜が1.8%と5か月連続のプラス、子供服・洋品が0.0%と前年並みとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-2.4	—	3か月連続マイナス
紳士服・洋品	-2.3	-0.1	3か月連続マイナス
婦人服・洋品	-2.3	-0.6	7か月連続マイナス
子供服・洋品	0.0	0.0	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-7.1	-0.2	43か月連続マイナス
衣料品	-2.5	-0.9	7か月連続マイナス
身のまわり品	-1.4	-0.2	2か月連続マイナス
化粧品	-3.1	-0.2	2か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	1.1	0.1	4か月連続プラス*
その他雑貨	-8.2	-0.4	46か月連続マイナス*
雑貨	-3.2	-0.5	2か月連続マイナス
家具	-2.2	0.0	2か月連続マイナス
家電	-16.5	-0.1	2か月連続マイナス
その他家庭用品	-1.1	0.0	2か月連続マイナス
家庭用品	-2.4	-0.1	2か月連続マイナス
生鮮食品	-2.1	-0.1	3か月連続マイナス*
菓子	-0.9	-0.1	4か月ぶりマイナス*
惣菜	1.8	0.1	5か月連続プラス*
その他食料品	-3.8	-0.3	3か月連続マイナス*
食料品	-1.4	-0.4	3か月連続マイナス
食堂喫茶	-4.2	-0.1	2か月連続マイナス
サービス	-4.0	0.0	10か月連続マイナス
その他	-8.2	-0.2	3か月連続マイナス
商品券	-25.2	-0.9	7か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成23年9月 東京地区百貨店売上高概況

平成23年10月18日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,074億円余
2. 前年同月比	-3.6% (店舗数調整後/3か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-2.4%(89.1%) : 非店頭-12.1%(10.9%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成23年8月対比±0店)
5. 総店舗面積	904,275㎡ (前年同月比:-4.2%)
6. 総従業員数	18,886人 (前年同月比:-9.5%)
7. 3か月移動平均値	2-4月 -9.2%、3-5月 -10.7%、4-6月 -3.1%、 5-7月 -1.7%、6-8月 -1.2%、7-9月 -2.5%

[参考] 平成22年9月の売上高増減率は-3.8%

【9月売上の特徴】

- (1) 東京地区の入店動向は、台風など天候不順の影響を大きく受けた結果、都内各店共に前年同月比で概ね3%~4%の減少であった。
- (2) 衣料品不振の中でも特に紳士服(-4.5%)が苦戦したが、この背景には、残暑に加えて、企業によるクールビズ対応期間の延長も影響している。
- (3) 東京地区では、百万円を超える高級時計が売上を牽引するなど、全国水準以上に富裕層消費が活況(美・宝・貴:+4.5%)であった。現時点で店頭における株安の影響は見られない。
- (4) 下旬からは、急速な冷え込みで秋物消費が活性化した。また、土鍋、羽毛布団、ウールコートなどの冬物商材にも、一部動きが見られた。
- (5) 9月末からの持ち直し傾向は10月に入っても継続しており、中間段階での都内売上動向は、各店共に前年水準を若干上回る水準で推移している。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比+0.3日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した: 4店、②変化なし: 4店、③減少した: 10店、④不明: 2店
- (3) 9月歳時記(敬老の日、秋分の日/お彼岸)の売上(同上)
①増加した: 3店、②変化なし: 7店、③減少した: 2店、④不明: 8店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
①増加する: 2店、②変化なし: 11店、③減少する: 6店、④不明: 1店

NEWS LETTER

東京地区百貨店 売上高速報 2011年09月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	107,476,532	100.0	-3.6 (-4.7)
紳士服・洋品	7,426,863	6.9	-4.5 (-5.5)
婦人服・洋品	23,382,417	21.8	-2.7 (-5.7)
子供服・洋品	1,936,417	1.8	-2.4 (-2.4)
その他衣料品	1,932,012	1.8	-13.6 (-13.6)
衣 料 品	34,677,709	32.3	-3.7 (-6.0)
身のまわり品	14,978,253	13.9	-4.5 (-6.9)
化粧品	6,293,219	5.9	-0.6 (-4.4)
美術・宝飾・貴金属	6,492,970	6.0	4.5 (4.5)
その他雑貨	5,844,669	5.4	-2.2 (-2.4)
雑 貨	18,630,858	17.3	0.6 (-0.8)
家 具	1,778,994	1.7	-9.6 (-9.8)
家 電	608,020	0.6	14.1
その他家庭用品	4,089,406	3.8	-1.2 (-1.1)
家 庭 用 品	6,476,420	6.0	-2.4 (-2.5)
生 鮮 食 品	4,277,498	4.0	0.4 (3.2)
菓 子	6,519,601	6.1	-3.2 (-2.2)
惣 菜	5,782,686	5.4	1.2 (2.6)
その他食料品	8,077,377	7.5	-9.4 (-8.6)
食 料 品	24,657,162	22.9	-3.8 (-2.5)
食 堂 喫 茶	3,112,805	2.9	-3.9 (-4.7)
サ ー ビ ス	1,997,108	1.9	-6.1 (-10.1)
そ の 他	2,946,217	2.7	-17.9 (-17.9)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商 品 券	3,123,754 千円	-47.2 (-47.4)
従 業 員 数	18,886 人	-9.5
店 舗 面 積	904,275 m ²	-4.2

営 業 日 数	30.0 日	前年	29.7 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が0.6%、3か月連続のプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、家庭用品、食料品。また、美術・宝飾・貴金属が4.5%と4か月連続、家電が14.1%と3か月連続、生鮮食品が0.4%、惣菜が1.2%と2か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-3.6	—	3か月連続マイナス
紳士服・洋品	-4.5	-0.3	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-2.7	-0.6	7か月連続マイナス
子供服・洋品	-2.4	0.0	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-13.6	-0.3	41か月連続マイナス
衣料品	-3.7	-1.2	3か月連続マイナス
身のまわり品	-4.5	-0.6	2か月連続マイナス
化粧品	-0.6	0.0	2か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	4.5	0.3	4か月連続プラス*
その他雑貨	-2.2	-0.1	2か月ぶりマイナス*
雑貨	0.6	0.1	3か月連続プラス
家具	-9.6	-0.2	6か月連続マイナス
家電	14.1	0.1	3か月連続プラス
その他家庭用品	-1.2	0.0	4か月ぶりマイナス
家庭用品	-2.4	-0.1	4か月ぶりマイナス
生鮮食品	0.4	0.0	2か月連続プラス*
菓子	-3.2	-0.2	3か月連続マイナス*
惣菜	1.2	0.1	2か月連続プラス*
その他食料品	-9.4	-0.7	8か月連続マイナス*
食料品	-3.8	-0.9	3か月連続マイナス
食堂喫茶	-3.9	-0.1	4か月ぶりマイナス
サービス	-6.1	-0.1	4か月連続マイナス
その他	-17.9	-0.6	3か月連続マイナス
商品券	-47.2	-2.5	5か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>